



39号 令和6年7月3日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

# 校長だより

呉市立阿賀小学校  
安宗 誠



## 本当の「挨拶」とは？

7月の本校の生活目標は、「その場に応じた 気持ちのよい あいさつをしよう」です。阿賀っ子1人残らずこのことができれば、本校から争いごと・もめごとは一切なくなると言い切ってもよいくらい大切なことだと私は思っています。

それはなぜかと申しますと・・・？

「挨拶」のそもそもの意味は、先日阿賀っ子にもお話したとおり。結局、「自分の心の表れ」ですので、にじみ出るもの。取りつくろっても、結局、心の底は見透かされます。

相手に挨拶をするときにするお辞儀。これはそもそもあなたと争う気持ちなど一切ないことを示すものだったそうです。外国人が挨拶するときにするハグや握手。これはそもそもあなたを攻撃するための武器を持っていないことを示すものだったそうです。

挨拶の型にこだわっているうちに、挨拶に魂がこもっていくこともあるでしょう。

しかし、大切なことは、型だけの挨拶で終わってしまわないこと。

自分が相手を思いやる心がにじみ出て、自然と気持ちのよい挨拶になっていること。

そんな挨拶が本当の挨拶なのでしょう。阿賀っ子全員、そんな心持ちで挨拶ができますように。

